

# 平成28年度補正予算案及び 平成29年度概算要求における 宇宙開発利用関係予算について (省庁別集計)

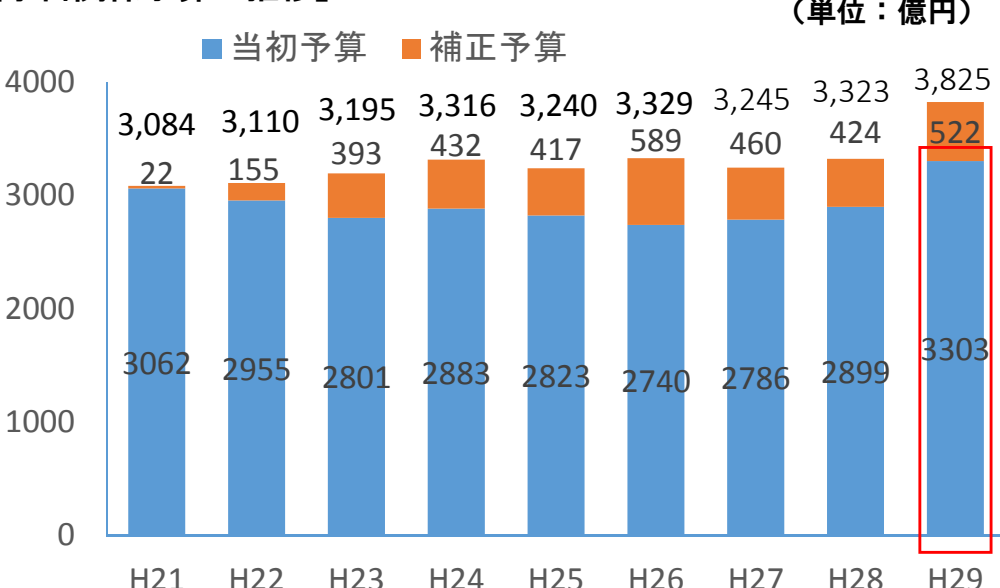
平成28年9月  
内閣府宇宙開発戦略推進事務局

# 平成29年度概算要求における宇宙関係予算

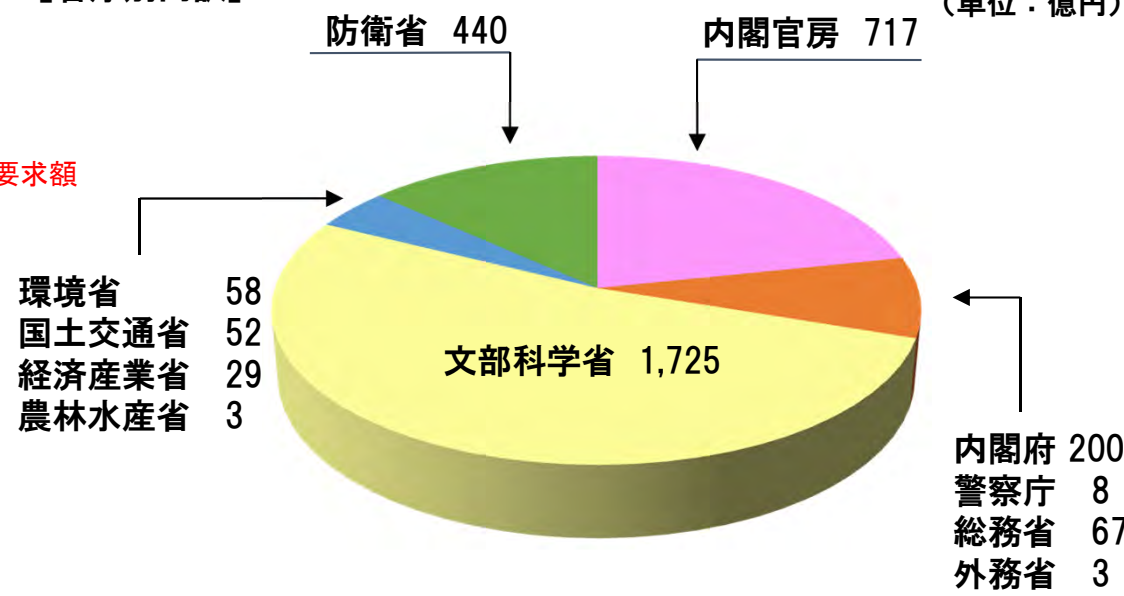
## [全府省]

平成29年度概算要求総額 **3,303億円** (平成28年度当初予算比404億円増(13.9%増))  
 (要求額2,548億円+優先課題推進枠754億円)

## [宇宙関係予算の推移]



## [省庁別内訳]



## [内訳]

府省名	平成28年度当初予算額 ①	平成29年度概算要求				対前年度増▲減 ④-①	(増▲減比)
		要求額 ②	優先課題推進枠 ③	概算要求総額 (④=②+③)			
内閣官房	619	557	160	717	98	(15.9%)	
内閣府	152	132	68	200	48	(31.2%)	
警察庁	12	8	0	8	▲3	(▲29.8%)	
総務省	60	57	10	67	7	(11.7%)	
外務省	3	3	0	3	1	(28.0%)	
文部科学省	1,524	1,323	401	1,725	201	(13.2%)	
農林水産省	2	3	0	3	1	(67.8%)	
経済産業省	30	20	9	29	▲1	(▲3.7%)	
国土交通省	102	51	1	52	▲50	(▲49.0%)	
環境省	57	51	7	58	2	(2.7%)	
防衛省	340	342	98	440	101	(29.7%)	
合計	2,899	2,548	754	3,303	404	(13.9%)	

(参考)	
平成28年度補正予算案 ⑤	平成28年度補正予算案+平成29年度概算要求 ⑥=④+⑤
175	892
44	244
	8
1	67
	3
280	2,004
	3
23	52
	52
	58
	440
522	3,825

(単位: 億円)

(参考)  
 (平成28年度補正予算案+平成29年度概算要求)  
 ÷ (平成28年度当初予算額) ≒ 31.9%増  
 (平成28年度補正予算案+平成29年度概算要求)  
 ÷ (平成27年度補正予算額+平成28年度当初予算額) ≒ 15.1%増  
 (四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない)  
 (財源等の関係で現時点で金額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算している)

# 平成28年度補正予算案（宇宙関係予算）【各府省の施策】

## 全府省合計 522億円

			(百万円)
<b>【内閣官房】</b>	17,467	<b>【文部科学省】</b>	27,954
○情報収集衛星関係経費	17,467	○H3ロケット	12,171
		○光データ中継衛星	4,319
<b>【内閣府】</b>	4,438	○先進レーダ衛星	815
○準天頂衛星システムの開発・整備・運用	4,400	○次期技術試験衛星	715
○中央防災無線網の整備	38	○宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	5,400
		○施設整備費等	4,534
<b>【総務省】</b>	50		
○豪州の農業分野における準天頂衛星の活用の包括的実証	50		
<b>【経済産業省】</b>	2,300		
○超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	2,300		

各府省庁予算の単位は百万円。内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。  
四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

# 平成29年度概算要求（宇宙関係予算）【各府省の主な施策】

## 全府省庁合計 3,303億円

(百万円)

<b>【内閣官房】</b>	71,718	(+9,848)
●情報収集衛星関係経費	71,718	(+9,848)
<b>【内閣府】</b>	19,989	(+4,755)
●準天頂衛星システムの開発・整備・運用	18,883	(+4,422)
○中央防災無線網の整備・維持管理等	126	(▲35)
○宇宙利用拡大の調査研究	530	(+214)
●戦略的イノベーション推進プログラム(SIP)	50,000の内数	(50,000の内数)
<b>【警察庁】</b>	811	(▲344)
○高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星の使用等	811	(▲344)
<b>【総務省】</b>	6,655	(+695)
○海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	81	(+)
●Ka帯広帯域デジタルビームフォーミング機能による周波数利用高効率化技術の研究開発	950	(新規)
○全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	8	(+)
○地域衛星通信ネットワークの利用	18	(+)
<b>【外務省】</b>	331	(+72)
○衛星画像判読分析支援	308	(+63)
○戦略的宇宙外交の推進	23	(+9)
<b>【文部科学省】</b>	172,464	(+20,078)
●H3ロケット	25,783	(+12,261)
●先進光学衛星	2,382	(+2,382)
●光データ中継衛星	2,652	(+2,627)
●先進レーダ衛星	1,374	(+1,274)
●次期技術試験衛星	1,198	(+734)
●宇宙状況把握(SSA)システム	1,876	(+870)
●小型月着陸実証機(SLIM)	6,000	(+3,703)
●X線天文衛星代替機	3,900	(新規)
●宇宙ステーション補給機「こうのとり」(HTV)	21,755	(▲2,047)
●新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)	3,694	(+1,736)

<b>【農林水産省】</b>	319	(+129)
●農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	9	(▲11)
○農林水産施策における衛星測位技術の活用	310	(+140)
<b>【経済産業省】</b>	2,930	(▲111)
●超高分解能合成開口レーダーの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	250	(▲250)
●宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	350	(+)
○石油資源を遠隔探知するためのハイパースペクトルセンサの研究開発事業費	1300	(+150)
○宇宙太陽光発電における無線送電技術の高効率化に向けた研究開発事業委託費	250	(+)
<b>【国土交通省】</b>	5,206	(▲5,000)
○3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	59	(+14)
●高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	106	(+14)
●G空間情報の円滑な流通促進に向けた検討	123	(+41)
○静止気象衛星業務等	3,744	(▲4,499)
○準天頂衛星を利用した航空用の衛星航法システム(SBAS)による測位補強サービスの実現	309	(+60)
<b>【環境省】</b>	5,823	(+154)
●温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)シリーズによる地球環境観測事業等	4,645	(+180)
●衛星による地球環境観測経費	1,016	(▲25)
<b>【防衛省】</b>	44,030	(+10,079)
●宇宙監視に係る取組	132	(▲62)
●衛星通信、商用画像衛星の利用等	42,815	(+10,142)
●宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究等	1,073	(▲2)

各府省庁予算の単位は百万円。( )内は対前年度当初予算比+増▲減。

内数表記の金額は、合計値・各府省の小計値には計上していない。

●は優先課題推進枠を含む事業。四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。

府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等		対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠				
	宇宙関係経費	289,919	52,210	254,826	75,450	330,275	40,356	(13.9%)	
	内閣官房	61,870	17,467	55,681	16,037	71,718	9,848	(15.9%)	
	情報収集衛星関係経費	61,870	17,467	55,681	16,037	71,718	9,848	(15.9%)	情報収集衛星の開発・運用等
	内閣府	15,234	4,438	13,208	6,781	19,989	4,755	(31.2%)	
	中央防災無線網の整備・維持管理等	161	38	126	0	126	35	( 21.7%)	衛星通信回線の使用料及び衛星通信地球局(固定型)の整備
	中央防災無線網の整備・維持管理等のうち衛星通信回線の使用料	126		126	0	126	0	(0.0%)	衛星通信回線の使用料
	中央防災無線網の整備・維持管理等のうち衛星通信地球局(固定型)の整備	35	38	0	0	0	35	( 100.0%)	衛星通信地球局(固定型)の整備
	準天頂衛星システムの開発・整備・運用	14,461	4,400	12,102	6,781	18,883	4,422	(30.6%)	
	実用準天頂衛星運用等経費	285		454	0	454	169	(59.3%)	衛星の運用に必要な事務費
	実用準天頂衛星製作等経費	11,107	4,090	4,189	6,781	10,970	137	( 1.2%)	実用準天頂衛星追加3機分の開発費
	実用準天頂衛星打上げ経費	3,070	310	7,459	0	7,459	4,389	(143.0%)	実用準天頂衛星の打ち上げ費
	宇宙開発利用の推進	611		980	0	980	369	(60.4%)	宇宙開発利用に関する施策の推進に必要な一般事務費
	宇宙利用拡大の調査研究	316		530	0	530	214	(68.0%)	宇宙安全保障の確保、民生分野における宇宙利用の推進及び産業・科学技術基盤の維持・強化に資する調査研究
	宇宙開発利用政策事務費	296		450	0	450	154	(52.2%)	宇宙戦略室の運営等に必要な経費
	戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)	50,000		45,000	5,000	50,000	0	(0.0%)	
	「次世代海洋資源調査技術」	50,000百万円の内数		概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額の内数			調査船、洋上中継器、陸上の拠点間で、海洋資源調査データを高速で伝送する海洋衛星通信技術を開発
	「自動走行システム」	50,000百万円の内数		概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額の内数			衛星測位技術等の活用による自動車や歩行者の高精度な位置の特定技術等を開発
	「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」	50,000百万円の内数		概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額の内数			衛星SARによる地盤および構造物の変状を広域かつ早期に検知する変位モニタリング手法を開発
	「レジリエントな防災・減災機能の強化」	50,000百万円の内数		概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額の内数			ALOS-2災害情報処理システムを用いたリアルタイム被害推定・実態把握技術を開発
	「次世代農林水産業創造技術」	50,000百万円の内数		概算要求額の内数	優先課題推進枠の内数	概算要求額の内数			人工衛星のセンシング情報等を利用して農機による作業を自動化・知能化する技術を開発
	警察庁	1,155		811	0	811	344	( 29.8%)	
	高解像度衛星画像解析システムの運用・通信衛星の使用等	1,155		811	0	811	344	( 29.8%)	
	高解像度衛星画像解析システムの運用	289		250	0	250	39	( 13.4%)	衛星画像供給業者より購入した衛星画像を解析し、警察活動に活用
	通信衛星の使用	559		527	0	527	32	( 5.7%)	衛星情報接続サービスを利用して現場映像等を警察活動に活用
	政府間端末等の運用	307		34	0	34	273	( 89.1%)	情報収集衛星の利用その他の手段により得られる画像分析を行うための機器・設備の保守

府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠	計				
総務省		5,960	50	5,705	950	6,655	695	(11.7%)		
	準天頂衛星時刻管理系設備の運用	57		0	0	0	57	( 100.0%)	研究開発を進めてきた準天頂衛星初号機「みちびき」の時刻管理系の実証運用	
	宇宙通信システム技術に関する研究開発	2,458		調整中	0	調整中			国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)の宇宙通信分野の基礎的研究開発	H29年度予算額はH28年度と同程度を想定。
	海洋資源調査のための次世代衛星通信技術に関する研究開発	81		81	0	81	0	(0.0%)	海洋資源の調査を効率化するため、通信衛星を活用して洋上のブロードバンド環境(10Mbps級)を構築するための次世代通信衛星技術の研究開発を実施する	
	次世代衛星移動通信システムの構築に向けたダイナミック制御技術の研究開発	223		0	0	0	223	( 100.0%)	宇宙環境下でのアンテナの変形に伴う地上ビームの変形を補正し、効率的なビーム形状を安定的に保持する技術を確立することにより、周波数の有効利用に資する研究開発を実施	本施策は平成28年度までの事業であるため、平成29年度には要求しない。
	フルロード状態の衛星通信超小型地球局(VSAT)システムの周波数利用率を向上させる技術に関する研究開発	0		調整中	0	調整中			人工衛星による映像伝送サービスの増大に応えるため、超小型地球局(VSAT)の更なる周波数有効利用に資する研究開発を実施	電波利用料財源のため、今後の予算編成過程で額が確定。
	ニーズに合わせて通信容量や利用地域を柔軟に変更可能なハイスループット衛星通信システム技術の研究開発	827		調整中	0	調整中			人々の社会経済活動のあらゆる領域において、好きなときに(周波数帯域を柔軟に変更可能)、好きなように(通信容量100Mbps程度)衛星ブロードバンド通信を可能とするための研究開発を実施	電波利用料財源のため、今後の予算編成過程で額が確定。(H29年度予算額はH28年度と同程度を想定。)
	Ka帯広帯域デジタルビームフォーミング機能による周波数利用高効率化技術の研究開発	0		0	950	950	950		大規模災害発生等による衛星通信需要の急激な変化に対応するため、衛星サービスエリアの迅速かつ柔軟な変更や、サービスエリア内の衛星通信周波数効率及び電力効率の最大化を可能とする人工衛星の照射ビームの高精度制御技術の研究開発を実施	
	豪州の農業分野における準天頂衛星の活用の包括的実証	80	50	調整中	0	調整中			豪州へのIT農業展開ハッカソンの高度化として、準天頂衛星のセンチメートル級補強サービスを活用した農機の精度評価等を実施	H29年度予算額はH28年度と同程度を想定。
	衛星リモートセンシング技術に関する研究開発	2,313		調整中	0	調整中			地球温暖化に代表される気候変動等のモデル化・シミュレーションによる予測技術高度化のために必須な、陸上・海上を問わないグローバルな大気観測のための衛星搭載地球観測センサや観測データの解析技術等のリモートセンシング技術の研究開発を推進	H29年度予算額はH28年度と同程度を想定。
	全国瞬時警報システム(J-ALERT)の衛星回線利用料	8		8	0	8	0	(0.0%)	全国瞬時警報システムの情報伝達において衛星回線を利用	
	地域衛星通信ネットワークの利用	18		18	0	18	0	(0.0%)	災害時に国と地方公共団体及び地方公共団体間を結ぶ通信ネットワーク	
外務省		259		331	0	331	72	(28.0%)		
	衛星画像判読分析支援	245		308	0	308	63	(25.6%)	衛星画像情報を活用するための設備・機材の調達・保守、及び関連データ収集等	
	戦略的宇宙外交の推進	13		23	0	23	9	(71.9%)	「宇宙外交」を推進するための会議費及び旅費	

府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等		対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠				
文部科学省		152,386	27,954	132,327	40,137	172,464	20,078	(13.2%)	
	JAXA(プロジェクト予算に自己収入額を含まない) 航空関連経費を除く	150,513	27,954	88,410	31,813	120,223	30,290	( 20.1%)	自己収入:地球観測データの提供により得られる収入(提供事業収入)や特許権や著作権の資料により得られる収入(特許等使用料)等
	JAXA 運営費交付金(自己収入額控除後) 航空関連経費を除く	102,103	13,162	0	0	0	102,103	( 100.0%)	
	1. 基幹システム関連経費	30,363		22,627	18,257	40,884	10,521	(34.7%)	
	H3ロケット	13,522	7,314	6,376	18,257	24,633	11,111	(82.2%)	H3ロケットの開発と打上げ関連設備の整備
	基幹ロケット相乗り機会拡大対応改修	590		0	0	0	590	( 100.0%)	衛星2機をそれぞれ異なる高度の軌道(主に太陽同期軌道)に打ち上げる技術の開発
	基幹システムの維持 等	16,251		16,251	0	16,251	0	(0.0%)	打上げ射場設備等の維持運用、地上局の維持運用、ロケット製作用関連設備等の維持運用、追跡ネットワーク維持、環境試験設備維持 等
	2. 宇宙環境利用関連経費	2,780		2,750	0	2,750	30	( 1.1%)	日本実験棟「きぼう」を利用した宇宙実験の実施や宇宙医学研究等の推進、宇宙環境利用研究の推進 等
	3. 衛星利用推進関連経費	5,958		7,818	4,949	12,767	6,809	(114.3%)	
	軌道上衛星の運用(利用衛星、交付金分) (DRTS、ETS-8、WINDS)	1,070		1,070	0	1,070	0	(0.0%)	通信分野の試験衛星の運用
	準天頂衛星の移管等	778		520	0	520	258	( 33.2%)	準天頂衛星初号機「みちびき」の移管等
	利用推進関連設備の維持 等	3,418		3,418	0	3,418	0	(0.0%)	地球観測データ総合管理・提供システムの運用・更新及び地球観測データ通信局(鳩山)の維持・運営、地球観測データ利用促進関連経費 等
	赤外センサの研究	25		25	0	25	0	(0.0%)	安全保障・防災に資する、衛星に搭載する赤外線検出器の研究
	災害観測・監視システムの整備	78		78	0	78	0	(0.0%)	防災関連機関等のユーザと連携した防災利用実証実験等の実施
	先進光学衛星	0		811	1,571	2,382	2,382		広域かつ高分解能撮像が可能な光学センサを搭載した先進光学衛星の開発
	光データ中継衛星	26	4,319	1,057	1,596	2,652	2,627	(10,214.4%)	光衛星間通信技術を用いた光データ中継衛星の開発
	先進レーダ衛星	100	815	446	928	1,374	1,274	(1,274.4%)	広域かつ高分解能撮像が可能なレーダを搭載した先進レーダ衛星の開発
	次期技術試験衛星	463	715	394	804	1,198	734	(158.5%)	静止衛星市場市場における国際競争力強化を目指した技術試験衛星の開発
	次期マイクロ波放射計(AMSR3)の相乗り搭載性検討	0		0	50	50	50		
	4. 技術研究関連経費	9,476		9,151	707	9,858	382	(4.0%)	
	宇宙太陽発電技術の研究	300		300	0	300	0	(0.0%)	宇宙太陽発電システム(SSPS)の実用化に向けた見通しをつける為の地上技術の実証
	スペースデブリ対策技術の研究	85		85	0	85	0	(0.0%)	スペースデブリ対策技術の研究
	将来研究(先行・革新、将来輸送系、共通基盤技術等)	909		909	420	1,329	420	(46.2%)	共通基盤技術の研究開発等
	基礎・基盤施設維持運営費	4,467		4,467	0	4,467	0	(0.0%)	三鷹・調布地区、筑波地区、角田地区の施設維持費
	情報システム関連	3,017		3,050	0	3,050	33	(1.1%)	サーバコン等の維持、情報技術関連の技術開発
	宇宙状況把握(SSA)システム	698		340	287	627	71	( 10.1%)	SSAシステムの開発、運用

府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等		対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠				
	5. 宇宙科学関連経費	16,281		10,344	6,600	16,944	663 (4.1%)		
	BepiColombo	93		286	0	286	193 (209.0%)	水星の内部・表層・大気・磁気圏にわたる総合的観測	
	ジオスペース探査衛星(ERG)	7,091		95	0	95	6,996 ( 98.7%)	ジオスペース探査衛星「ERG」の開発	
	X線天文衛星(ASTRO-H)	138		0	0	0	138 ( 100.0%)	X線天文衛星「ASTRO-H」の開発	
	軌道上衛星の運用(科学衛星)	1,568		1,568	0	1,568	0 (0.0%)	科学衛星や探査機等の運用	
	学術研究・実験 等	2,985		2,985	0	2,985	0 (0.0%)	研究者による自由な発想による学術研究、基礎的研究開発等	
	宇宙科学施設維持	2,009		2,009	0	2,009	0 (0.0%)	研究観測設備維持、相模原キャンパス施設維持、科学衛星データ利用経費 等	
	小型月着陸実証機(SLIM)	2,297		2,300	3,700	6,000	3,703 (161.2%)	小型月着陸実証機の開発	
	火星衛星サンプルリターンの開発研究	100		100	0	100	0 (0.0%)	火星衛星サンプルリターンミッションに向けた開発研究	
	X線天文衛星代替機	0		1,000	2,900	3,900	3,900	X線天文衛星代替機の開発	
	6. 国際宇宙探査関連経費	401		401	0	401	0 (0.0%)	国際宇宙探査に向けた技術研究や海外機関との調整等	
	7. 月・惑星探査関連経費	283		337	0	337	54 (19.2%)		
	小惑星探査機「はやぶさ2」	283		337	0	337	54 (19.2%)	「はやぶさ2」の開発	
	8. 信頼性向上プログラム	5,321		5,321	0	5,321	0 (0.0%)	ロケット・衛星に係る総合的技術力を継続的に発展・維持向上させるための取組	
	9. 産業振興・宇宙技術基盤の強化	3,055		1,460	1,300	2,760	295 ( 9.6%)		
	産業振興基盤の強化	960		960	0	960	0 (0.0%)	知的資産の外部提供や外部リソースの積極的活用、国内需要の開拓や海外需要獲得	
	革新的衛星技術実証プログラム	2,095		500	1,300	1,800	295 ( 14.1%)	宇宙利用・宇宙産業の抜本的拡大及びイノベーション創出	
	10. 国際協力の推進	596		596	0	596	0 (0.0%)	APRSAFの主催、センチネルアジアの推進等の国際協力の構築や海外の情報収集分析	
	11. 事業推進関連経費	6,691		6,691	0	6,691	0 (0.0%)	品質保証活動の強化や若手研究者のJAXAプロジェクトへの参加や外部研究者との交流の促進等	
	12. 人件費・間接経費等	21,900		21,915	0	21,915	15 (0.1%)	自己収入を含む	
	13. 自己収入	1,000		1,000	0	1,000	0 (0.0%)		
	<b>JAXA 補助金</b>	<b>48,410</b>	<b>14,792</b>	<b>42,103</b>	<b>6,250</b>	<b>48,353</b>	<b>58 ( 0.1%)</b>		
	1. 宇宙ステーション運用等	34,689		29,377	4,991	34,368	321 ( 0.9%)		
	日本実験棟(JEM)運用等	8,929		8,919	0	8,919	10 ( 0.1%)	日本実験棟「きぼう」(JEM)の運用を推進	
	宇宙ステーション補給機「こうとり」(HTV)	23,802	5,400	18,855	2,900	21,755	2,047 ( 8.6%)	宇宙ステーション補給機(HTV)の年間1機程度の打ち上げ	
	新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)	1,958		1,603	2,091	3,694	1,736 (88.7%)	新型宇宙ステーション補給機(HTV-X)の開発	
	2. 施設整備費	1,368	3,492	3,996	1,259	5,255	3,887 (284.0%)	人工衛星やロケット等の開発に必要な試験設備や打ち上げ関連設備等の維持・更新等	



府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等		対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠				
	3. 全球地球観測システム構築の推進	12,352		6,897	0	6,897	5,455 (44.2%)		
	温室効果ガス観測技術衛星後継機(GOSAT-2)	1,788		1,486	0	1,486	302 (16.9%)	温室効果ガス(CO2、メタン)観測のためのGOSAT-2衛星システムと地上システムの開発	
	気候変動観測衛星「GCOM-C」	4,973		324	0	324	4,649 (93.5%)	多波長光学放射計(SGLI)により、雲・エアロゾル、海面、植生、積雪分布等の連続観測	
	雲エアロゾル放射ミッション/雲プロファイリングレーダ(EarthCARE/CPR)	140		283	0	283	143 (102.6%)	気象予報、気候変動予測の精度向上のためのCPR(雲プロファイリングレーダ)と地上システムの開発	
	超低高度衛星技術試験機(SLATS)	680		82	0	82	598 (87.9%)	超低高度軌道からの観測を実現するSLATSと地上システムの開発	
	軌道上衛星の運用(利用衛星、補助金分)(GOSAT、GCOM-W、ALOS、ALOS-2、GPM/DPR)	4,772		4,722	0	4,722	50 (1.0%)	地球観測衛星の運用	
	4. 基幹ロケット高度化の推進	359		2,462	700	3,162	2,803 (780.4%)		
	基幹ロケット(H-IIA)高度化	0	5,500	1,832	0	1,832	1,832	H-IIAロケット能力向上	
	基幹ロケット(イプシロン)高度化	359	400	630	700	1,330	971 (270.3%)		
	(1)基幹ロケット(イプシロン)高度化	359	400	630	200	830	471 (131.1%)	イプシロンロケット能力向上	
	(2)イプシロンロケットのシナジー対応開発	0	0	0	500	500	500	H3ロケットの固体ロケットブースタ(SRB-3)等をイプシロンへ適用するための開発	
	文部科学省 内局	1,513		1,184	1,374	2,558	1,044 (69.0%)		
	1. 宇宙・航空科学技術推進の調整に必要な経費	462		342	140	482	20 (4.3%)		
	宇宙航空科学技術推進委託費等	462		342	140	482	20 (4.3%)	宇宙航空開発利用の新たな可能性を開拓するための研究開発や人材育成等	
	2. 宇宙・航空分野の戦略的研究開発・国際展開の推進	96		136	0	136	41 (42.8%)	我が国における宇宙外交、宇宙システム海外展開を推進するための調査研究等	
	3. 地球環境情報プラットフォーム構築推進プログラム	919		662	1,234	1,896	977 (106.3%)	地球観測・予測情報等のビッグデータを活用した気候変動等の社会課題の解決を支援する社会基盤(データ統合・解析システム(DIAS))の構築・安定的運用。	
	4. 全球地球観測システム構築推進事務	36		43	0	43	6 (17.7%)	GEO拠出金等	
	農林水産省	190		319	0	319	129 (67.8%)		
	農林水産施策におけるリモートセンシング技術の活用	20		9	0	9	11 (56.6%)		
	被災地域の農作物等復興状況の把握	20		0	0	0	20 (100.0%)	東日本大震災被災地域における農作物の作付状況の把握	
	人工衛星からの取得データを利用した水稲の作柄予測手法等の検討	0		9	0	9	9	アメダスデータに加え、人工衛星から取得されるデータを利用し、水稲の作柄予測手法等を検討。	
	森林情報高度活用技術開発事業(リモートセンシング技術活用ガイドラインの作成)	0		54百万円の内数	0	54百万円の内数		リモートセンシング技術を施業の集約化等に関する現地調査に効果的に活用するためのガイドラインを作成	
	赤潮・貧酸素水塊対策推進事業のうち人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法の開発	213百万円の内数		213百万円の内数	0	213百万円の内数		人工衛星による赤潮・珪藻発生等の漁場環境観測・予測手法の開発	
	我が国周辺水産資源調査・評価推進事業のうち人工衛星・漁船活用型漁場形成情報等収集分析事業	1,581百万円の内数		0	42百万円の内数	42百万円の内数		資源評価の精度向上に資するため、人工衛星による表面水温等の情報収集の支援	
	農林水産施策における衛星測位技術の活用	170		310	0	310	140 (82.7%)		
	VMSシステムの運用	170		310	0	310	140 (82.7%)	漁業取締のための船舶監視システム(VMS)の保守・運用	
	農林水産業におけるロボット技術安全性確保策検討事業	90百万円の内数		150百万円の内数	0	150百万円の内数		衛星情報を活用して自動走行や空中散布等を行うロボット技術の安全性の検証や、ロボット農機の完全自動走行に必要な技術等を検証する取組を支援	

府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等		対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠				
経済産業省		3,041	2,300	2,030	900	2,930	111	( 3.7%)	
	超高分解能合成開口レーダの小型化技術(ASNARO2)の研究開発	500	2,300	0	250	250	250	( 50.0%)	低価格・高性能の小型レーダ衛星の研究開発
	宇宙産業技術情報基盤整備研究開発(SERVISプロジェクト)	350		0	350	350	0	(0.0%)	民生部品・民生技術の宇宙転用
	石油資源を遠隔探知するための衛星利用技術の研究開発事業費	480		480	0	480	0	(0.0%)	地球観測衛星ASNARO-1を用いた石油資源遠隔探知技術の確立、向上
	石油資源を遠隔探知するためのハイパースペクトルセンサの研究開発事業費	1,150		1,300	0	1,300	150	(13.0%)	ハイパースペクトル及びマルチスペクトルセンサの開発
	次世代地球観測衛星利用基盤技術の研究開発	311		0	300	300	11	( 3.6%)	ハイパースペクトルセンサから得られるデータの解析手法、センサの校正技術等の確立
	宇宙太陽光発電における無線送電技術の効率化に向けた研究開発事業委託費	250		250	0	250	0	(0.0%)	宇宙太陽光発電システムの無線送電技術の研究開発
国土交通省		10,206		5,076	130	5,206	5,000	( 49.0%)	
	人工衛星の測量分野への利活用(測位分野)	802		778	0	778	24	( 3.0%)	GNSS連続観測システム(GEONET)の整備・運用、電子基準点による地殻変動の監視
	人工衛星の測量分野への利活用(リモートセンシング分野)	66		59	0	59	7	( 10.1%)	人工衛星による地殻変動の監視、衛星画像を利用した地図の整備・更新
	3次元地理空間情報を活用した安全・安心・快適な社会実現のための技術開発	45		59	0	59	14	(31.1%)	屋外の測位環境の改善と屋内シームレス測位の実現及び3次元地図の整備・更新等に係る技術の研究開発
	高精度測位技術を活用したストレスフリー環境づくりの推進	91		36	70	106	14	(15.9%)	空間情報インフラの整備・活用の促進に向けた実証、検討等の実施
	G空間情報の円滑な流通促進に向けた検討	81		63	60	123	41	(50.9%)	地理空間情報の効率的な収集・更新及びそれを活用した社会的課題の解決
	静止気象衛星業務等	8,243		3,744	0	3,744	4,499	( 54.6%)	ひまわり8号・9号の運営等
	高精度測位技術を活用した公共交通システムの高度化に関する技術開発	27		29	0	29	2	(5.6%)	高精度測位技術を活用した乗換円滑等に資する情報提供等の技術開発
	運輸多目的衛星関連施設維持運営に係る経費		空港等維持 運営費の内 数						運輸多目的衛星の通信機能及び航法機能を航空管制業務に利用
	準天頂衛星を利用した航空用の衛星航法システム(SBAS)による測位補強サービスの実現	248		309	0	309	60	(24.3%)	準天頂衛星システムの静止衛星等を利用したSBASによる測位補強サービスの提供に必要となる、SBAS処理装置を整備
	MEOSAR(コスパス・サーサット中軌道衛星)システムへの移行	603		0	0	0	603	( 100.0%)	MEOSARシステムに対応した地上局等の整備
	GPS波浪計による波浪・津波観測の高精度化	港湾整備事 業費の内数		港湾整備事 業費の内数	0	港湾整備事 業費の内数			GPS波浪計による波浪及び津波観測システムについて、さらに準天頂衛星の測位情報も活用して、より高精度で安定した観測を可能とする改良の検討。

府省名	施策名	平成28年度 政府予算	平成28年度 補正予算案	平成29年度概算要求額等			対前年度 当初予算	対前年度 当初予算比	事業内容	備考
				概算要求額	優先課題推 進枠	計				
環境省		5,668		5,128	695	5,823	154	(2.7%)		
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)シリーズによる地球環境観測事業等	4,464		4,382	263	4,645	180	(4.0%)		
	温室効果ガス観測技術衛星「いぶき」(GOSAT)シリーズによる地球環境観測事業	44		0	263	263	219	(502.5%)	いぶき現行機による観測成果の公表・プロダクトの精度管理のほか、いぶき後継機(2号機、3号機)の打ち上げ関連経費や開発の検討に着手するための調査・検討を実施	「いぶき」現行機-2号機・3号機関連経費を計上
	GOSATの後継機の開発	3,300		3,270	0	3,270	30	(0.9%)	「いぶき」後継機のセンサ・地球観測地上設備等開発	エネルギー需要勘定
	GOSATによる排出量監視に向けた技術高度化事業	1,121		1,112	0	1,112	9	(0.8%)	「いぶき」後継機のデータ検証及びデータの利用促進のための観測データ処理技術高度化事業	エネルギー需要勘定
	衛星による地球環境観測経費	1,041		584	432	1,016	25	(2.4%)	GOSATのデータ研究・解析費用及びGOSAT-2のデータ研究・解析設備・体制整備	
	アジア地域渡り鳥等国際共同研究推進	9		9	0	9	0	(0.0%)	ズグロカモメに発信器を装着し、人工衛星を用いたアルゴシステムにより、巣立ち後の行動圏の比較・解明等を行う。	
	渡り鳥の飛来経路の解明事業	18		18	0	18	0	(0.0%)	渡り鳥の飛来経路を衛星追跡により解明する。	
	発生地周辺への渡り鳥の飛来経路調査	50百万円の内数		50百万円の内数	0	50百万円の内数			鳥インフルエンザ等の感染症が発生した際の緊急時の対応	
	希少野生動物野生順化特別事業	106		106	0	106	0	(0.0%)	GPSアルゴシステムにより放鳥個体の確実なモニタリングを実施	
	自然環境保全基礎調査費(植生調査及び沿岸域変化状況等調査)	201百万円の内数		201百万円の内数	0	201百万円の内数			全国的な自然環境に関する基礎資料を作成するため、衛星画像を利用し、植生調査及び沿岸域変化状況等調査等を実施	
	北西太平洋地域海行動計画推進費	30		29	0	29	1	(2.7%)	人工衛星を利用した「環日本海洋環境リッチシステム」の維持管理・改善	
防衛省		33,951		34,210	9,820	44,030	10,079	(29.7%)		
	宇宙監視に係る取組	194		0	132	132	62	(32.1%)	宇宙空間の状況把握に必要となる宇宙監視システムの構築	
	衛星通信、商用画像衛星の利用等	32,673		33,203	9,612	42,815	10,142	(31.0%)		
	Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業を含む衛星通信の利用	25,703		23,082	6,890	29,973	4,270	(16.6%)	Xバンド衛星通信中継機能等の整備・運営事業(1、2、3号機分)等	
	商用画像衛星・気象衛星情報の利用	6,970		10,120	2,722	12,843	5,872	(84.2%)	商用画像衛星利用料	
	宇宙を利用したC4ISRの機能強化のための調査・研究等	1,074		1,008	65	1,073	2	(0.2%)	衛星を含めた将来装備システムの実験等	
	米空軍宇宙業務課程等	9		0	11	11	1	(13.8%)	課程への派遣	

四捨五入の関係で合計は必ずしも一致しない。  
 戦略的イノベーションプログラム(SIP)等、予算の一部が宇宙関係であるものの額が確定されないものは、上記予算額には計上していない。  
 財源等の関係により現時点で額を確定できないものは、前年度の予算額を基に計算している。